

第1学年 生活科学習指導案

時間・場所 2校時 1年3組教室, オープンスペース
学 級 1年3組35名(男子18名, 女子17名)
授業者 川村 まき子

1 単元名 つくろう あそぼう

2 単元の目標

- ◎身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫してつくったり、遊びを工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができる。
- ・身近な自然物を使って、遊びに使うものをつくったり、遊んだりすることに関心を持ち、みんなで楽しく遊ぼうとする。
(生活への関心・意欲・態度)
 - ・自然物や身の回りにあるものを利用して、遊びに使うものを工夫してつくったり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊ぶことができる。
(活動や体験についての思考・表現)
 - ・自然物を利用して遊んだり遊びに使うものをつくったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。
(身近な環境や自分についての気付き)

3 児童について

児童は、「なつだ あそぼう」の学習で、水を利用して遊ぶおもちゃ作りを通して、道具のちょっとした工夫や遊び方の工夫などを友達と伝え合い、共有して楽しむ経験をしている。しかし、本単元のように、自然物や身近にあるものを何かに見立てて作る活動は初めてで、自分の思いが達成されるように、作り方を見通したり、道具や材料をうまく使いこなしたりすることは慣れていない。

4 指導計画(全9時間)

- (1) 集めた葉や木の実, 材料を使って遊び, おもちゃづくりのイメージをもつ。・・・1時間
- (2) 集めた葉や木の実, 材料を使っておもちゃや楽器をつくって遊ぶ。・・・2時間
(本時2/2)
- (3) つくったものを紹介し合い, さらに改良を加えながら, 楽しく遊ぶ。・・・2時間
- (4) もっと楽しく遊ぶために, 遊びのルールや約束, 遊ぶ場の準備をする。・・・2時間
- (5) グループごとに, おもちゃを改良したり, 遊び方を工夫したりする。・・・1時間
- (6) みんなで遊びを楽しみ, 活動を通して気付いたことを振り返り, 伝え合う。・・・1時間

5 本時について

(1) 目標

- ◎自分のつくっているおもちゃや楽器に合うように、集めた葉や木の実等の材料を取捨選択し、工夫することができる。
- ・自分の思いに合うように、「えらぶ」「つくりなおす」「つけたす」などして、より楽しめるように考えることができる。

(2) 本時の評価規準

【活動や体験についての思考・表現】

自分の思いに合うように、「えらぶ」「つくりなおす」「つけたす」などして、より楽しめるように考えている。

(3) 研究に関わって

本時は、自分でつくったおもちゃや楽器を「もっとたのしくあそべるようにしよう」という課題で、さらに材料を選び直したり、仕組みを変えたりするなど、試行錯誤しながら改良を加えていく活動が中心である。

・学び合い活動の工夫

一人一人が思いや考え通りのおもちゃになるように、おもちゃを比べ合ったりつくり方を教え合ったりできるように、おもちゃ毎に材料コーナーと試し遊びコーナーを設定する。

・振り返り活動の工夫

次時への意欲につながるように、前時との比較や分かったこと、友だちとの教え合いについて振り返りをする。

(4) 本時の展開

| 段 | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 ◆評価の観点 ☆復興教育の観点 ◇特別支援の観点 |
|-----------------------|--|---|
| 導 入 | 1 前時の活動を想起し、本時の活動への思いをもつ。 ・前時つくったおもちゃを提示し、改良できそうか考えさせる。 2 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">もったのしくあそべるおもちゃにしよう。</div> | ◇思うように動かず、うまくいかないおもちゃを提示し、自分のおもちゃももっとよく動くおもちゃに改良できそうだという思いをもてるようにする。 |
| 10 分 | ・改良の見通しをもつ。 ・場と安全と時間を確認する。 | ・道具を安全に注意して使う。 ・材料や用具は、あった場所にもどす。 ・集合の合図を守る。 |
| 展 開 30 分 | 3 対象とかわかる。 ○楽しく遊べるおもちゃになるように、試しながら作る。 ・作ったおもちゃで遊び、改良できそうなところを見つける。 ・改良することを発表する。 ・それぞれ改良する。 ・改良したことと、その結果を発表する。 | ☆「みんなで支え合って前へ」の観点から、どんなふうに変更したらいいかを一緒に考えたり、教え合ったりしながら取り組ませる。 ☆「大切な一人一人」の観点から、教師が、児童の気付きや工夫のよさを見取り、広めるようにする。 ◆自分の思いに合うように、「えらぶ」「つくりなおす」「つけたす」などして、より楽しめるおもちゃになるように考えている。(活動の見取り) ・作ったものを使いながら、改良点がみえる発表にする。 |
| 終 末 5 分 | 4 課題のまとめをする。 ・分かったことや気付いたこと、教え合いを発表する。 5 学習の振り返りをする。 ・前時と比較して分かったこと、友だちから教えられたこと、次時にしたいことを発表し合う。 | ☆「大切な一人一人」の観点から、発表を聞き合うことで、お互いを認め合う気持ちを育てる。 ・楽しく遊べるように、みんなが改良したことを確かめ合いまとめる。 ・「～を・・・するといいことが分かりました。」 ・「～さんから・・・と教えられて上手にできました。」 ・「つぎは・・・してみたいです。」 |

(5) 板書

板書

㉟もったのしくあそべるおもちゃにしよう。

やくそく

いっしょに
かんがえる。
おしえあう。

ちゅうい

絵

タイマー

もったのしくするよ。

さかなつり こま マラカス めいろ

やじるべい けんだま たいこ まといれ

「ちがうものでつくる」「つくりなおす」「つけたす」

㊦

「ちがうもので・・・を作ったら、～できるようになった。」
「・・・をつくりなおしたら、～できるようになりました。」
「・・・をつけたしたら、～できるようになって、おもしろくなりました。」
・「つぎは・・・してみたいです。」
「～さんに・・・を教えられてうれしかったです。」